

2025 年度 大阪医科薬科大学

エキスパート HOME ナースを目指す 人材育成支援プログラム

募集要項



学校法人 大阪医科薬科大学
看護キャリアサポートセンター

もくじ

1.	ねらい	1
2.	研修目的	1
3.	研修目標	1
4.	研修期間とプログラム	1
	1) 研修期間	1
	2) プログラムの概要	2
	3) 学習内容	3
5.	修了について	4
6.	募集について	5
	1) 募集人員	5
	2) 応募資格	5
	3) 応募手続き	5
	4) 提出書類	5
7.	選抜方法	5
8.	面接について	5
9.	受講決定について	6
10.	受講に必要な費用	6
11.	教育訓練給付制度ご案内	6
	問い合わせ先	7
	看護師クリニカルラダー	8
	応募書類	
	受講願書	
	推薦書	

1. ねらい

超高齢社会の進展を背景に看取りを含めた在宅医療の需要に対応できる訪問看護の量的拡大とともに、人びとの複雑かつ多様化するニーズに対応できる訪問看護の質向上が求められています。そこで本プログラムでは、変化する社会を見据え、高い倫理観のもと根拠にもとづいた看護実践力と教育指導力を兼ね備えた、エキスパート HOME ナースを育成・輩出し、訪問看護師の人材確保と訪問看護の質向上に寄与します。

HOME ナースとは、以下の能力を有した地域で活躍できる看護師を指しています。HOME ステーションとは、訪問看護師、在宅ケアに携わる看護職が新たなアクションを起こすために必要となる力を生み出す場を意味しています。

HOME ナースとは、以下の能力を有した地域で活躍できる看護師を指しています。

Health management and Hospitality：予防から看取りまで幅広く対応できる

Operation skill：基本技術やアセスメントが熟達している

Multi human communication：利用者・家族・多職種との連携・協働ができる

Environmental care：利用者の生活環境に配慮できる

2. 研修目的

在宅療養者と家族の価値観と生活を理解するとともに、健康問題を多角的にとらえ、倫理的配慮にもとづいた看護実践力と、その実践を通してスタッフや学生を指導できる教育力を身につけることを目的とします。

3. 研修目標

- 1) 複雑、多様化する社会及び医療状況、在宅療養者と家族の健康課題を多角的に分析できる。
- 2) 在宅療養者と家族の価値観と生活を理解し、専門職としての倫理的配慮にもとづいた事例展開ができる。
- 3) 他職種と連携・協働しながらチームアプローチの推進に必要な知識やスキルを理解し、自施設及び自己の課題を整理できる。
- 4) スタッフや学生を教育・エンパワメントするために必要な知識やスキルを理解できる。
- 5) 看護の質の維持推進のための自施設の課題を分析し、行動計画のもと実践、評価できる。

4. 研修期間とプログラム

1) 研修期間

2025 年 9 月 3 日（水）～2026 年 3 月 7 日（土）

※原則，月 2 回の土曜日開講ですが，夜間開講，集中講義となる場合もあります。

※最終講義終了後，別途日程にて閉講式が行われます。日程は開講後にお知らせいたします。

2) プログラムの概要

「臨床判断を発展させる科目」「マネジメントを発展させる科目」「看護実践を発展させる科目」を配置し，思考を深め言語化を重視した学習者能動的参加・実践型の授業を展開します。

3) 学習内容

区分	科目名	主な学習内容	時間数	
			時間	コマ
臨床判断を 発展させる 科目	臨床推論	臨床推論とは 事例を用いた演習	4	2
	フィジカルアセスメント	問診 フィジカルイグザミネーション 臨床判断をもとにした看護実践	12	6
	在宅看護における生体診断	レントゲン・心電図 看護とエコー診断 ポータブルエコー活用の実際	10	5
	看護倫理	看護実践上の倫理的概念 看護実践における倫理原則 倫理的課題解決の方法と事例検討	10	5
マネジ メント を 発 展 さ せ る 科 目	医療の質保証と安全管理	医療安全 医療と看護の質評価とその枠組み 看護の質評価と改善	6	3
	看護教育・管理	看護におけるリフレクション リーダーシップ論 組織分析と課題解決に向けた実践	12	6
	コンサルテーション	コンサルテーションの概念 コンサルテーションのプロセス コンサルテーションの実際	6	3
	地域包括ケアと多職種連携	地域包括ケアシステムと看護 チーム医療に関する理論とその活用 多職種連携とコンピテンシー	4	2
	社会保障制度	地域包括ケアシステムと社会保障制度 医療保険制度と介護保険制度 障害児者を対象とした制度	6	3
	メンタルヘルス	自己分析と自己理解 ストレスマネジメント	8	4

区分	科目名	主な学習内容	時間数	
			時間	コマ
看護実践を 発展させる 科目	感染症管理とマネジメント	感染看護総論 在宅における感染対策	4	2
	呼吸器疾患とケア	呼吸器疾患とケア 人工呼吸器の取扱いとケア 高齢者の呼吸器疾患の特徴とケア	6	3
	医療的ケア児の看護	重症心身障がい児の特徴 重症心身障がい児の発達支援 重症心身障がいと呼吸器ケア	6	3
	高齢・認知症ケア	高齢者の摂食嚥下機能のアセスメント 摂食嚥下障害のある療養者のケア 認知症と看護 認知症看護における倫理 エンド・オブ・ライフケア	12	6
	在宅緩和ケア	在宅緩和ケア総論 がん療養者の在宅緩和ケア 高齢者と薬物動態 在宅緩和におけるオピオイド使用のポイント	10	5
	在宅リハビリテーション	肺理学療法 生活を重視した運動療法	4	2

※1時間は45分、1コマは2時間（90分）とする。

5. 修了について

以下、①～③すべてを満たした者に対し、修了証及び履修証明書を授与します。

- ① 所定のプログラム120時間を履修している（欠席は3分の1以下、欠席時のレポートあり）
- ② 各科目の評価（レポート試験、筆記試験、技術試験、口頭試問等）が60点以上である
- ③ 全科目終了後に実施する客観的臨床能力試験において60点以上である

6. 募集について

1) 募集人員

10 名

2) 応募資格

以下のいずれかに該当する方とします.

- ・訪問看護での看護実務経験が原則 3 年以上^{注)} ある
- ・在宅ケア領域（外来，退院支援調整，福祉施設等）での看護実務経験が原則 3 年以上ある

注) 2025 年 6 月末で，看護実務経験が 36 ヶ月以上であることを意味する.

経験が 3 年未満であっても，日本看護協会訪問看護ラダーレベルⅡ～Ⅲ相当（p.6「看護師の臨床的ラダー」参照）と判断される場合は，その限りでない.

3) 応募手続き

(1) 受付期間

2025 年 7 月 1 日（火）～8 月 8 日（金） 当日消印有効

(2) 応募の流れ

1. ホームページの「エキスパート HOME ナースを目指す人材育成支援プログラム 応募書類のダウンロード」画面より，出願書類をダウンロードしてください.
2. ダウンロードした応募書類に必要事項を記入し，封書にてお送りください.
3. 応募書類の受付完了の連絡を，受講願書に記載されたメールアドレスにお送りします.

4) 提出書類

① 受講願書

② 推薦書：施設の管理者等に推薦理由を記載していただき，提出してください.

※ お送りいただいた応募書類は返却いたしませんのでご了承ください.

7. 選抜方法

書面審査，面接試験

8. 面接について

応募書類の受付完了の連絡時に，面接日の日程についてお知らせします. 面接は，応募書類の受付順に順次，実施いたします. 可能な範囲でご希望日にあわせて調整します.

面接時にはご本人確認のために，公的な身分証明書（運転免許証等）のご提示をお願いいたします.

9. 受講決定について

- ・面接修了後、受講の可否についてメールにてお伝えします。
- ・電話によるお問い合わせには対応しかねます。

10. 受講に必要な費用

費用：12 万円

通学や実習先までの交通費は自己負担となります。

受講料は受講決定後に指定の銀行口座にお振込みいただきます。なお、振込手数料は受講者のご負担とさせていただきます。

受講料をお振込みいただいた後の返金はいたしかねますのでご了承ください。

11. 教育訓練給付制度のご案内

教育訓練給付制度とは、労働者の主体的なスキルアップを支援するため、厚生労働大臣の指定を受けた教育訓練を受講・修了した方に対し、その費用の一部が支給される制度です。

- ・本プログラムは厚生労働省により、一般教育訓練講座指定を受けております。
- ・修了者には受講費用の 20%が受講者に支給されます。
- ・教育訓練給付の支給申請を行う場合は、雇用保険の加入期間などの条件があります。条件をご確認のうえ、修了日の翌日から 1 か月以内にお住まいを管轄するハローワークでお手続きください。

＜本学看護キャリアサポートセンターへのアクセス＞



大阪医科薬科大学病院内 2 号館
3 階にあります。

JR 東海道本線(JR 京都線)「高槻」
駅下車 南口より徒歩 8 分 阪急京
都線「高槻市」駅下車出口 1 より
すぐ。



書類提出先・問い合わせ先

〒569-8686 大阪府高槻市大学町 2 番 7 号

学校法人大阪医科薬科大学 看護キャリアサポートセンター

※封筒表面に「エキスパート HOME ナースを目指す人材育成プログラムコース研修 受講手続き
書類在中」と朱書きのうえ送付ください

※お問い合わせ 看護キャリアサポートセンター事務局

[Tel:072-683-1221](tel:072-683-1221)(代表)

E-mail : k-career@ompu.ac.jp

看護師のクリニカルラダー

定義	レベル	I	II	III	IV	V
	レベルの定義	基本的な看護手順も従い必要に応じ助言を得て看護を実践する	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する	より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する
看護の核となる実践能力	ニーズを捉える力	助言を得てケアの受け手や状況（場）のニーズをとらえる	ケアの受け手や状況（場）のニーズを自らとらえる	ケアの受け手や状況（場）の特性をふまえたニーズをとらえる	ケアの受け手や状況（場）を統合しニーズをとらえる	ケアの受け手や状況（場）の関連や意味をふまえニーズをとらえる
	ケアする力	助言を得ながら、安全な看護を実践する	ケアの受け手や状況（場）に応じた看護を実践する	ケアの受け手や状況（場）の特性をふまえた看護を実践する	様々な技術を選択・応用し看護を実践する	最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する
	協働する力	関係者と情報共有できる	看護の展開に必要な関係者を特定し、情報交換ができる	ケアの受け手やその関係者、多職種と連携ができる	ケアの受け手を取り巻く多職種の力を調整し連携できる	ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように、多職種の力を引き出し連携に活かす
	意思決定を支える力	ケアの受け手や収支の人々の意向を知る	ケアの受け手や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる	ケアの受け手や周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる	ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に伴うゆらぎを共有でき、選択を尊重できる	複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた陽性的役割を担うことができる

看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）実践例（訪問看護ステーション）Pdf. [jissen_homon.pdf \(nurse.or.jp\)](https://www.jissen-homon.pdf (nurse.or.jp)) より（抜粋）

受講願 書

学校法人大阪医科薬科大学看護キャリアサポートセンター

大阪医科薬科大学 学長 殿

私は、この度、貴大学看護キャリアサポートセンターエキスパート HOME ナース
人材育成研修への受講を志願します。

年 月 日

名 前 _____ (自署・印)

写 真 貼 付

〔タテ 4 cm ヨコ 3 cm〕

3ヶ月以内に撮影し

フリガナ			生年月日
名 前			(西暦) 年 月 日
ローマ字			才
受講 資格	(出身大学名等)		大学 研究科 専攻 修了
	(出身短大・高等専門学校・専門学校名等)		学校 学科 専攻 卒業
現住所	〒 -		
	電 話 : - -	携帯電話 : - -	
	E-Mail :		
	書類送付先 : 〒 - (現住所と異なる場合)		
学 歴	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
職 歴	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	

(注)

1. 太枠内を記入する(数字・英字は半角)
2. 学歴は高等学校卒業以降、入学、卒業の順に西暦で記入する
3. 受講に際して本センターが得た受講生の個人情報については、当該目的以外には利用しません

職歴 (続き)	年	月						
	年	月						
	年	月						
	年	月						
	年	月						
	年	月						
	年	月						
	年	月						
資格 免許	年	月	看護師免許	年	月	日	第	号
	年	月	保健師免許	年	月	日	第	号
	年	月	助産師免許	年	月	日	第	号
	年	月		年	月	日	第	号
	年	月		年	月	日	第	号
	年	月		年	月	日	第	号
	年	月		年	月	日	第	号
	年	月		年	月	日	第	号
賞罰・その他特記事項など								
これまでの実践活動（自己アピール）								
本研修を志望する理由								

年 月 日

大阪医科薬科大学 学長 殿

施設名 ○○○○○○

推薦者役職名〇〇

推薦者名 ○○ ○○

推薦書

[illegible]